

11月28日

京都府戦没英霊追悼慰霊祭

時局講演会

とき 平成二十三年十一月二十八日

場所 ホテルグランヴィア京都

去る十一月二十八日、今回で八回目となる京都府戦没英霊追悼慰霊祭並びに時局講演会がホテルグランヴィア京都において開催され、約二〇名が参列した。参列者は祭儀に先立ち国歌を斉唱、そして心二つに「海ゆかば」を合唱した。

午後時、竹内幸平副本部長が斎主をつとめ、京都府戦没英霊追悼慰霊祭が厳かに斎行された。

神籬に降霊した御霊は、朗々と唱える重厚謹厳なる祭詞と巫女の清らかな浦安の舞、そして参列者の英霊に対する感謝の誠に癒され、本都御座に昇霊されたことを望むと共に、今後も祖国の輝ける未来のために散華された英霊への感謝の祈りの継続が、本当の意味での慰霊となるとの決意を新たにされた。

午後二時からは、写真家でジャーナリストの宮嶋茂樹氏を講師に迎え、「覚悟なくして再起なし」―不



肖・宮嶋氏の軌跡―と題する研修会が開催された。

先生は東日本大震災が発生した十二時間後には実際に現地に向かい、約二ヶ月間にわたって被災地の写真を撮り続け、何万枚もの写真の中から選び抜いた『再起』という本を刊行され、売上金の一部を義援金にあてられるなどの活動をされておられる。

講演では、この写真集に収められた自衛隊をはじめ関係者の懸命な活動と、困難に立ち向かう東北人の『勇気』。すべてを失った虚無感から希望が見出せない中、一歩踏み出す『覚悟』、そして人間本来の生きる力強さがおさめられた『東北人の生

き様』を写した写真を紹介頂いた。

先生は、阪神淡路大震災を取材し、もうこれ以上の破壊や悲劇はないと思ったが、東北はその比ではない、規模が違いすぎると感じた。そして映像ではなく実際に被災地を見てほしい。そうすれば今日本がどんな困難に立ち向かっているか、どういう困難を克服しなければならぬかが実感できるはずだと訴えられた。

また、尖閣や竹島など国家主権をめぐる諸問題に関連し、平成二十三年八月に竹島に近い鬱陵島を視察した際の貴重な体験や、対馬の「行幸啓記念の碑」撮影秘話を紹介された。対馬が韓国資本に買い占められている現状に関して、「日本人がもつと足を運んでほしい。日本人の無関心が一番の敵です」と訴えられた。

韓国政府による国会議員の入国拒否、鬱陵島の港に林立する「日本人入島不許可」などの幟、さらにはサムスン電子が建てた独島博物館前の「対馬島本是我国之地」（対馬はもともと韓国領土）と書かれた碑に象徴されるとおり、我が国の領土を奪つておきながら、それを正当化するために歴史を捏造し、反日教育を続けている現状を紹介頂いた。

また、「独島が（朝鮮人の怒りで）



噴火し、日本列島を津波がのみ込めばいい」という看板に、外交の本質と国際社会の厳しい現実、そして現政権の安全保障のあり方に警鐘をならされた。

（神尾和俊）

12月8日

京都市神道議員連盟

設立総会

とき 平成二十三年十二月八日

場所 京都市役所

去る十二月八日、京都市役所において京都市神道議員連盟「設立総会」が開催され、京都府議会に続き市議会においても総勢二十三名の議員連盟が発足した。

総会では、規約および役員を選任が満場一致で承認され、寺田一博市議会議員が会長に就任された。今後は府議会・市議会の神道議員連盟と連携し政策を推進することとなった。

また、この度の京都市神道議員連盟発足への積極的な取り組みが評価され、六月十三日に開催された神道政治連盟中央委員会において、表彰の栄に浴した。

京都市神道議員連盟

会長 寺田一博 議員
副会長 山本恵一 議員
幹事長 桜井泰広 議員

12月9日

京都府議会神道議員連盟

懇談会

とき 平成二十三年十二月九日

場所 リーガロイヤルホテル京都



去る十二月九日、リーガロイヤルホテル京都において京都府議会神道議員連盟懇談会が開催された。

懇談会には多賀久雄会長をはじめ十五名の府議会議員と神政連京都府本部の林本部長以下役員関係者三十三名が出席した。

懇談会は国歌斉唱の後、林本部長挨拶、多賀会長の挨拶に続き、神道政治連盟中央本部事務局長の湯澤豊氏を講師に迎え『神道政治連盟の活動』と題する講演会が開催された。

講演会では、東日本大震災の復興に対する対応を含めた十一項目の活動方針・活動計画の概略について、それぞれの事案を提示しながらご講演を頂いた。

東日本大震災における神社の被災状況について

東北地方を中心に二都十五県、四八二八社の被災状況と、三月十日に安倍会長以下神道政治連盟国会議員懇談会主催の物故者慰霊祭斎行予定の報告がなされた。

国家主権を巡る諸問題への政策

国際戦略フォーラムが作成した東アジアの地図を示し、神社界挙げての啓発活動の実施と永住外国人地方参政権付与についての注視と危険性を訴えられた。

皇室の尊厳護持運動

女性官家の創設に対する神社本庁の基本見解について、東京大学名誉教授の小堀桂一郎先生の見解を紹介し詳細に解説された。

教育の正常化と正しい歴史観を後世に伝える運動

神政連で推薦した自由社と育鵬社の歴史公民の教科書の採択運動と結果についての報告がなされた。

靖國神社公式参拝・政教分離

現在係争中の訴訟と、津の地鎮祭訴訟をはじめ政教関係訴訟について解説された。

時局にに応じて取り組む対策

沈静化しているようにみえる夫婦別氏（姓）制の問題、人権擁護法案など国の根幹を揺るがす法案への注視の重要性について解説された。

地方議員連盟の状況

一都二府十四県で十九団体が組織されており、議員連盟の発足が神政連の活動を推進する大きな原動力であり、京都市神道議員連盟の発足を大変評価された。

沖縄「京都の塔」慰霊参拝旅行を経て

貴船神社 権祢宜 山田文也



軍皆が先の戦争を通して築いた礎のおかげであることを実感すると共に、感謝を祈念いたしました。

波上宮参拝時、宮司様のお話にありました「集団自決教科書問題」「米軍基地移転問題」等未だに戦争を引き金とした問題が山積みである中、我々はその解決を後押ししていく一方で、英霊達の国家愛・地域愛・家族愛・夫婦愛・兄弟愛等といった誇り高き精神を忘れず、この慰霊祭を通して後世に継承していかなければならないと思いました。

去る二月二十七日二十八日神道政治連盟京都府本部沖縄「京都の塔」慰霊参拝旅行に参加いたしました。

初日、林秀俊神政連京都府本部長以下二十九名奉仕・参列のもと、宜野湾市嘉数高台公園内の「京都の塔」にて慰霊祭を齎行いたし、静寂の中花房副本部長齋主の祭詞奏上の内容を耳にして、今回の旅行の大切さが身に浸りました。

二五三〇石柱の京都出身の英霊達に捧げる祭詞より、現代では当たり前のように感じてしまっている飢餓や貧困等で苦しまない満たされた日々を送れるのはこの英霊達をはじめ当時の日本



於：沖縄県護国神社

靖國神社慰霊参拝と米軍施設及び自衛隊視察研修会

平安神宮 権祢宜 高橋秀行



平成二十四年三月二十二日、恒例の神道政治連盟京都府本部主催の靖國神社参拝が、林秀俊本部長以下総勢三十一名で行われた。

拜殿での修祓の後、本殿にて慰霊祭が厳粛に執り行われ、国のために尊い命を捧げられた御英霊に対し深く感謝と哀悼の誠を捧げた。

その後、遊就館を見学し、永田町にある自民党本部に移動。谷垣総裁をはじめ有村、西田、山谷各議員との懇談会が行われた。各議員からは民主党によって引き起こされた社会不安を一蹴する熱い言葉を聞くことができ、安心と期待が高まった。

翌日は雨となったがバスにて陸上自衛隊横須賀基地に向かい、そこで護衛艦「やまゆき」に搭乗し各設備の説明を受けた。強力なミサイルや魚雷、機関砲などを間近で見る事が出来た



が、敵から実際に攻撃を受けてからでないと使用出来ない」と聞き、早急なる憲法改正の要有りと感じた。

その後、三笠公園に移動し記念艦「三笠」を見学し、隣接の米軍横須賀基地へ向かった。厳重な入所検査が無事通ると車内の緊張が和み、担当者から基地内の各施設の説明を受けた。そこで巨大な空母「ジョージ・ワシントン」を目の当りにし、米国に守られている日本に複雑な思いを感じたが、現代の国際情勢では仕方がないと自分に言い聞かせて基地を後にした。新横浜駅に移動し新幹線にて京都への帰路についた。二日間の実のある研修会に参加者一同、充実した目で解散となった。

御製を拝して

津波来し
時の岸辺は如何なりしと
見下ろす海は
青く静まる

大震災が、東日本に甚大な災害をもたらしてから、早一年余りが過ぎました。この間両陛下は、不自由な避難生活の様子や、被災地の復興状況を憂慮され、被災地に幾度も足を運び、困窮する国民を見舞って来られました。

冒頭の御製は、昨年五月六日、岩手県に行幸啓された折、ヘリコプターで釜石市から宮古市へ至る沿岸地域の被災状況を御視察になったときの印象を、本年の歌会始に於いてお詠みになったものです。

神々の治める自然の世界では、時として本来の働きである荒魂の神威を発せられます。上代より我々日本人は、荒魂の怒りが鎮まるよう、国家の祭祀を以て祈り神の怒りを鎮めてきました。今も昔も国民の安穩を真摯に祈る陛下の大御心に感謝し、私たち国民は、犠牲となった方々の御霊の平安を祈りつつ、荒ぶる神の怒りは何だったのか、考えなければなりません。

あしあと

事務局からの活動報告（平成二十三年七月～十一月）

12月 師走

平成23年
12月 2日：●神道政治連盟大阪府本部設立40周年記念式典 林本部長・中嶋事務局長出席（於 大阪天満宮）
12月 8日：●京都市神道議員連盟設立総会 林本部長・梶幹事長・中嶋事務局長出席（於 京都市役所）
12月 9日：●京都府議会神道議員連盟懇談会50名出席（於 リーガロイヤルホテル京都）
12月15日：●関係団体代表者懇話会 林本部長出席（於 京都ガーデンパレス）
12月19日：●京都府本部役員会 林本部長以下関係者19名（於 京都ブライtonホテル）
12月23日：●天長節奉祝日本会議京都式典120名（於 京都府神社会館）

1月 睦月

平成24年
1月12日：●自由民主党京都府連合会関係団体会議 中嶋事務局長（於 京都府連合会事務所）
1月19日：●京都府神社庁新年神職総会関係団体助成金交付式 林本部長出席（於 京都府神社会館）
1月21日：●神道政治連盟兵庫県本部時局講演会 林本部長（於 舞子ピラ神戸）
1月22日：●門川大作候補出陣式 中嶋事務局長（於 門川大作選挙事務所）
〃：●渡辺邦子京都府議会議員を囲む会 林本部長（於 ウェスティン都ホテル）
〃：●寺田一博京都市議員を囲む会 梶幹事長・宇佐美委員（於 京都全日空ホテル）
1月25日：●神道政治連盟役員会 林本部長（於 神社本庁）
1月29日：●坪内正一氏叙勲祝賀会 梶幹事長（於 ホテルグランヴィア京都）

2月 如月

2月 4日：●佐藤正久参議院議員 新春の集い（於 グランドプリンスホテル京都）
2月 6日：●神道政治連盟大阪府本部設立40周年記念時局講演会 林本部長以下3名出席（於 大阪市中央公会堂）
2月 9日：●神道政治連盟滋賀県本部時局講演会 中嶋事務局長出席（於 栗東芸術文化会館）
2月11日：●建国記念の日奉祝京都式典 関係者出席（於 京都府神社会館）
2月18日：●京都府神社庁祈年祭 林本部長参列（於 京都府神社会館神殿）
2月20日～21日迄：●お伊勢さん初まいり 林本部長出席（於 神宮）
2月22日：●京都府神道青年会創立60周年記念式典 林本部長出席（於 リーガロイヤルホテル京都）
2月23日：●第10回神道政治連盟時局対策研修会 田中副幹事長（於 自由民主党本部）
2月27日～28日迄：●沖縄京都の塔慰霊参拝団結成29名（於 沖縄県）

3月 弥生

3月 1日：●関係団体代表者懇話会並び交通慰霊祭検討会議 林本部長出席（於 京都府神社会館）
3月10日：●神道政治連盟国会議員懇談会主催東日本大震災物故者慰霊祭 林本部長・中嶋事務局長参列（於 福島県丸太水産跡地）
3月22日～23日迄：●靖國神社慰霊参拝団 本部長以下31名出席（於 靖國神社並び横須賀方面）
3月23日：●植田喜裕京都府議会議員総会 林本部長（於 京都全日空ホテル）
3月24日：●西田昌司京都政経パーティー 5名出席（於 ホテルグランヴィア京都）
3月29日：●京都府神社庁65周年京都府神社総代会55周年記念大会 林本部長出席（於 ホテルグランヴィア京都）

4月 卯月

4月17日：●京都府神社庁例祭 林本部長（於 京都府神社会館）
〃：●神社庁並び総代会関係者合同会議 林本部長（於 京都府神社会館）
4月19日：●神道政治連盟表彰委員会 林本部長（於 神社本庁）
〃：●神道政治連盟選挙対策委員会 林本部長（於 神社本庁）
4月20日：●神道政治連盟役員会 林本部長（於 神社本庁）

5月 皐月

5月 6日：●京都府神社洛東支部総代会総会 林本部長出席（於 魚善）
5月10日：●京都府本部役員会 本部長以下12名（於 京都府神社会館）
5月18日：●京都府本部三役会 林本部長以下10名出席（於 糸仙）
5月29日：●第13回神政連近畿地区協議会 林本部長・中嶋事務局長出席（於 ホテルグランヴィア和歌山）

6月 水無月

6月12日：●神道政治連盟役員会 林本部長出席（於 神社本庁）
〃：●神道政治連盟本部長事務局局長連絡会 林本部長 中嶋事務局長出席（於 神社本庁）
〃：●神道政治連盟・神道政治連盟国会議員懇談会合同祝賀会 林本部長以下4名出席（於 ホテルニューオオタニ）
6月13日：●神道政治連盟中央委員会 林本部長、花房副本部長、梶幹事長、室川会計責任者、中嶋事務局長出席（於 神社本庁）
6月15日：●京都府本部綱紀財務合同委員会（於 京都府神社会館）
〃：●京都府本部役員会（於 京都府神社会館）
6月16日：●船井支部神社総代会総会 林本部長出席（於 氷室の郷）
6月29日：●代議員会（於 京都府神社会館）
〃：●参議院議員西田昌司国政報告会（於 シルクホール）

7月 文月

7月 9日：●第26回会員大会開催（於 京都センチュリーホテル）
〃：●「清政」第52号発行